



2020-2021 年度
1月号
NO. 376

THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

IBC-DBC

国際会長：Jacob Kristensen(デンマーク) 主題:「命の川を信じよう」
アジア太平洋地域会長：David Lusa(ソコポール) 主題:「変化をもたらそう」
東日本区理事：板村哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化をたのしもう！」
関東東部部長：柿沼敬喜(東京グリーン) 主題:「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」
東京ひがしクラブ会長：須田哲史 主題:「持続可能な未来を創ろう」

1月例会(zoom)

と き 2021年1月14日(木)
19:00~20:30
※Zoomによるリモート例会。

★今月の誕生日

山口 紀子様 (6日)



今月の聖句

『兄弟の愛をもって互いにいつくしみ、
進んで互いに尊敬し合いなさい。』
—ローマ人への手紙第12章10節—

強調月間 (IBC-DBC)

IBC = International Brother Clubs (国際兄弟クラブ) の略

DBC = Domestic Brother Clubs (国内兄弟クラブ) の略

ひがしクラブのIBCは、1986年10月釜山ビーチクラブと締結したが現在は交流が滞っている。DBCは、1997年6月京都ウエストクラブと締結し、宿泊交流会・深川例大祭・ウエスト引継例会訪問等々、ワイズ温泉に仲良く浸かり交流が続いている。この度、京都ウエスト40周年記念が2月6日行われるが、コロナ感染防止に伴う緊急事態宣言の再発出で、誠に残念であるがひがしクラブは欠席することにしました。

新年あけましておめでとうございます

会長 須田哲史

新型コロナウイルス感染拡大は、世界史にも残るほどの負の影響を与え、明るい未来に向かって活動再開するまでは、未だ道半ばと言わざるを得ません。皆様と直接、お会いする機会も大幅に減り、暗いニュースばかりが続き、息苦しい毎日を過ごしていらっしゃるかと思います。そんな中でも、クラブのLINEやzoomで皆様とコミュニケーションを取り合う中で、心の絆の大切さを思い起こさせてくださっていることに、この場を借りて、感謝申し上げます。

さて、今期のクラブの活動のスタートに、このような環境の中でも、私たちが信念を持って、行うべきことは、コロナ感染拡大阻止への対応と、このような急激な社会変化に、素早く対応すること。その社会とは持続可能性のある社会の構築であるとなりました。そのために、まず、クラブ内を整備(倉庫や備品等)し、SDGsの基本について学び、会館の下町こどもダイニングのような社会で必要とされる活動と考え、優先してこれらの活動を進めてまいりました。コロナ感染対策を十分に配慮した例会活動や、開催が難しい中であっても、zoomを活用して、例会を実施することも日常化しました。東陽町の会館の菜園に多くの食材が育ち、子どもダイニングの食材として提供される、ひがしらしい、優しい心あるプログラム展開されています。このように、厳しい現状が続く中であっても、明日につながる、私たち以上に困っている方々に向けた心の絆を展開するプログラムを着実に実行していきましょう。

持続可能な明るく楽しい未来を創るために、よろしく願いいたします。

本年もよろしく願いいたします

12月例会

出席者 8名 ゲスト2名
会員出席数 6名
在籍数 15名
(広義会員1名)

ひがし会員出席率 43%

スマイル

11月 8,000円

累計 35,000円

2020-2021 年度役員

会長 須田哲史
副会長 高野真治
書記 金丸満雄
会計 千代一郎
担当主事 沖 利柯

新春メッセージ



沖 利柯

昨年は様々なことに制約があり、ワイズ活動も YMCA 活動も思うようになりませんでした。今年こそは良い方向に向かい、私たちの使命が十分に果たせる一年になることを心から願っています。それまで、希望を失わず前向きに毎日を通りたいと思います。でもくじけそうになったら、叱咤激励！どうぞよろしくお願い致します。楽しい一年になりますように！！

竹内 聡

新型コロナウイルスが早く終息してワイズの皆さんに出会えることが一番の楽しみです。そして、皆さんと健康で毎日を通ることが出来ることです。閉ざされた時をどのように開いて交わりを深めていくか、試された一年になるかもしれません。この状態を共に嘆き、この困難な状態を打開する意志を確認し、協力して生きたいです。

千代一郎

コロナ禍の拡大の中、「3蜜」と「不要不急な行動」を避けるとともに、散歩等の適度な運動をしながら、健康と体力の維持に努めています。今年もよろしくお願い致します。

金丸満雄

一日も早く収束する日を待ち望み、みんなと楽しく活動できる時を今はじっと耐えるのみ。趣味となった野菜作り、土との会話が今はストレス発散となっている。今年も、東陽町ブランドの野菜作りを楽しみたい！

笑顔満開！

今年もよろしくお願い致します



東陽町コミュニティセンター「子どもクリスマス」

「下町こどもダイニング」や、日本語サポート「にじいろ」参加者などを対象に、12月19日に子どもクリスマスを開催しました。当初は下町こどもダイニングの美味しい食事をとりながら、ゲームやクリスマス



のお話を聞く会を予定していましたが、コロナウイルス感染防止のため、時間や内容を変更し、感染防止対策をした上で実施をしました。

子ども24名、大人16名の参加がありましたが、企業からのご寄付に加えて、手作りのカップケーキや丹精込めて作ってくださったみかんやハチミツにお煎餅、高校生が学校で呼び掛けて集めてくださった文具、社内で社員に呼び掛けてくださったお菓子などなど、たくさんの方々のお気持ちの詰まったプレゼントに、笑顔溢れる会になりました。また YMCA で実施しているポジティブネット募金も用いさせていただきました。(沖 利柯)

◆12月例会◆

12月12日、Zoomによる例会が行われた。イタリアンレストランにてクリスマス例会を予定してあったが、コロナ感染拡大のため Zoom 例会に変更。メンバー6名とゲスト2名の寂しい例会だったが、野澤メンの祈祷のあと、それぞれ近況を語りあった。コロナ感染が収束し、リアルにみんなと楽しく会話が出来る日を望む日だった。(リモートは馴染めない！)



YMCAニュース

担当主事 沖 利柯

▼「にじいろ」スタート

在日外国籍の子どもたちの日本語をサポートする「にじいろ」が11月7日東陽町コミュニティセンターでスタートしました。高校生や大学生のボランティアがゲームや手遊びをしながら子どもたちの会話の練習をサポートしています。今後も宿題の手伝い等も含め、個々に合わせた支援を継続していく予定です。

▼子どものスキー教本発行

東京YMCA野外教育研究所発行「子どものスキー教本」(5回目の改訂版)の発行に際して、同教本の制作を含め、YMCAのスキー指導の実践と研究に50年余にわたり貢献してくださっている六本木信久氏(東京YMCA野外教育研究所顧問)に感謝状が贈呈されました。

▼バングラデシュ支援報告

東京YMCAとパートナーシップ関係にあるバングラデシュYMCA同盟は、7月中旬にバングラデシュを襲った洪水による被災者救援活動として、11月までにボグラとピリシリ地域の800世帯に、食料(米、豆)、経口補水液、フェイスマスクを配布しました。東京YMCAから9月に送金した3000ドルはこの支援活動に用いられました。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大と合わせ、現地の被害は深刻になっています。

▼東京町田YMCA 30周年

1990年に開設された東京町田YMCAが30周年を迎えました。当初は町田駅近くに拠点を構え、英会話スクールや国際キャンプなどの地域活動を行ってききましたが、2003年からは拠点をもちないYMCAとして、会員有志により「ベテランティア・フォーラム(中高年ボランティア講習会)」や「歌声ひろば」「わくわく科学実験教室」などを実施しています。12月14日に町田市民フォーラムにて、長年ボランティアとして活躍されている12名の方々に菅谷総主事から感謝状が贈呈されました。

▼第15回子育て講演会

2021年1月16日(土)10:00~11:30「子どもの心をのぞいてみませんか」~子どももなかなかたいたいものです~と題し、柴田愛子さん(りんごの木子どもクラブ代表)による講演会が開催されます。当初は江東区文化センターで開催予定でしたが、コロナウイルス感染拡大の為、オンラインのみの開催となりました。ご視聴を希望される方は<https://goo.gl/aEFxk2>にてお申込みをお願いいたします。